

取扱説明書

シングル用ディスプレイアーム
DA-ARMS4

保証書は添付しておりません
修理の際には、購入日の証明(レシート・納品書など)が必要です。
大切に保存してください。

背面	表面	裏面
	<ul style="list-style-type: none"> 添付品を確認する 対応環境 クランプを装着する 取り付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 取り付ける(つづき) 寸法・使用範囲

添付品を確認する

- A. クランプ金具
- B. ディスプレイ取り付け用アタッチメント
- C. 滑り止め樹脂板
- D. クランプ金具用ネジ一式
M6x12 (x4) M8x12 (x2)
- E. アタッチメント用ネジ一式
M4x12 (x4) M4x30 (x4) 13X5.5X16.5 (x4)
- F. 六角レンチセット
4mm (x1) 5mm (x1)

用意するもの
・+ドライバー
・軍手(装着して作業してください)

対応環境

対応する液晶ディスプレイや机などについては、以下の Web ページをご覧ください。



<https://www.iodata.jp/product/lcd/option/da-arms4/spec.htm#spectop>

クランプを装着する

1. アルミ板金を装着する
2. 滑り止め樹脂板を貼り付ける
3. クランプ部分を装着する

- 使うもの
- A.
 - C.
 - D.
 - F.

取り付ける

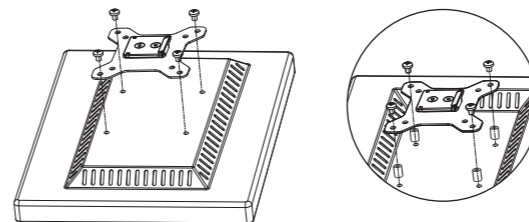
作業の前に

- ・ディスプレイにケーブルがつないであれば、すべて外してください。
- ・ディスプレイに台座がついていれば、外してください。
- ・ディスプレイを画面側が下になるようにして、柔らかい布の上に置いてください。

ご注意: 手や指をはさまないように注意する

本製品は機構も多く、荷重もかかるため危険です。
手や指をはさんでケガをしないようにご注意ください。

1 ディスプレイにアタッチメントを取り付ける



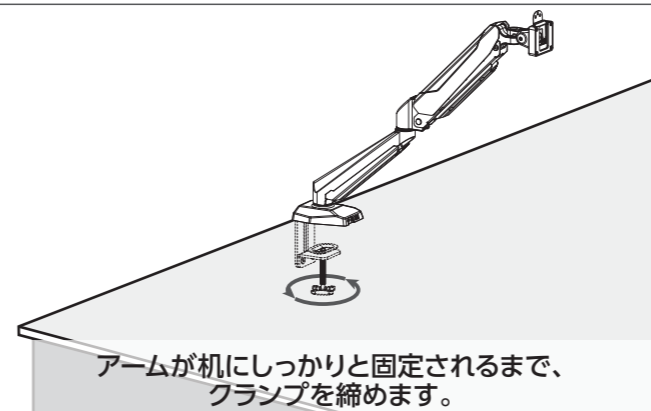
VESA インターフェイスがくぼんでいる場合は、スペーサーを使って取り付ける

アタッチメントを VESA インターフェイスに取り付ける

ディスプレイ
質量(アームの耐荷重): 6kg 以下
VESA マウントインターフェイス:
75mm×75mm、100mm×100mm

- 使うもの
- B.
 - E.
 - 13X5.5X16.5

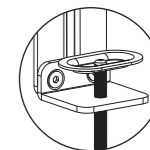
2 机にアームを取り付ける



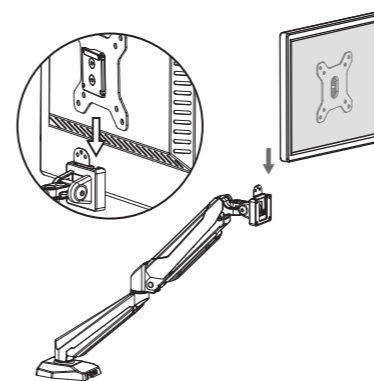
アームが机にしっかりと固定されるまで、クランプを締めます。

クランプのスペースが若干足りない場合

クランプ部分を取り外し、ネジと金具を分解します。
その後、金具が逆になるように取り付けてください。

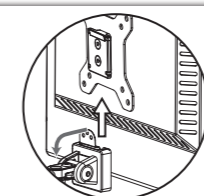


3 ディスプレイをアームに取り付ける



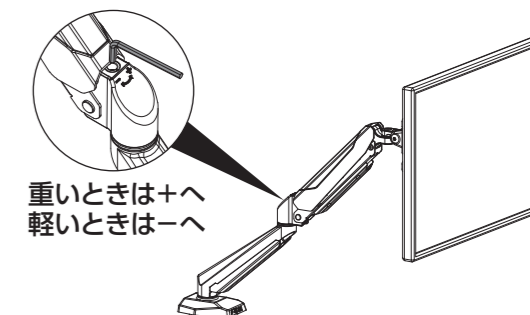
ディスプレイを取り外す方法

アームにある金具を持ち上げながら、ディスプレイを取り外してください。



4 アームの強さを調節する

ディスプレイの重さに応じて、アームのガススプリングの強さを調節します。



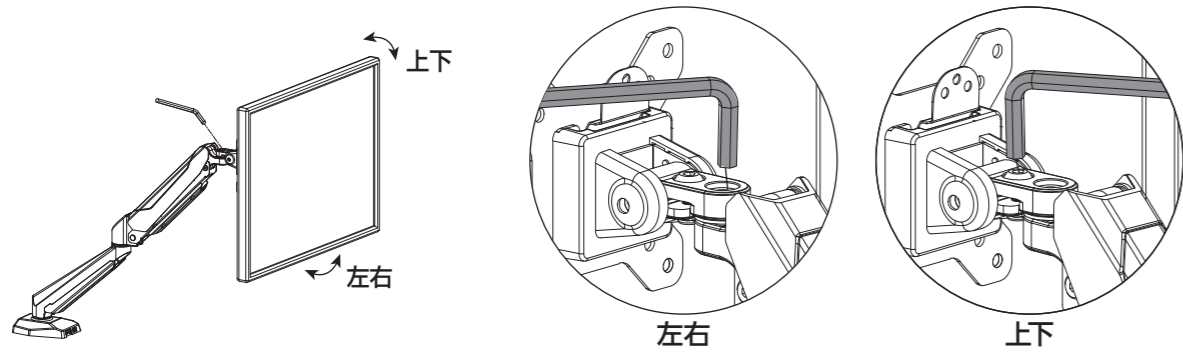
重いときは+へ
軽いときは-へ

- 使うもの
- F.

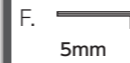
取り付け (つづき)

5 ディスプレイの向きを調節する

ダンパーをゆるめて、上下と左右の向きを調節します。調節が終わったら、ダンパーを締め直します。

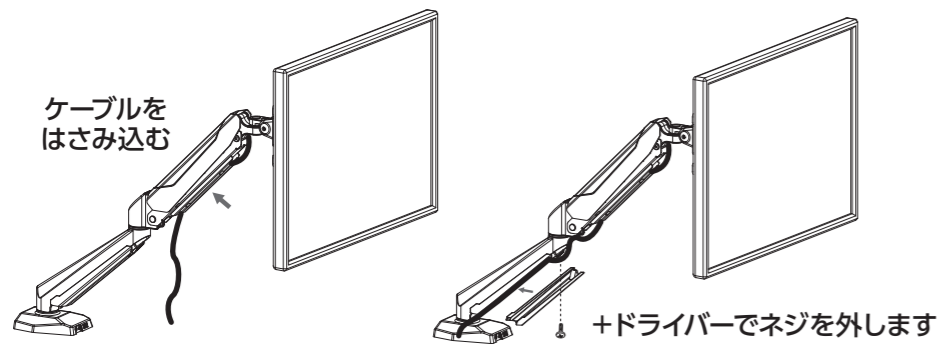


使うもの



5mm

6 ディスプレイのケーブルを配線する



使うもの

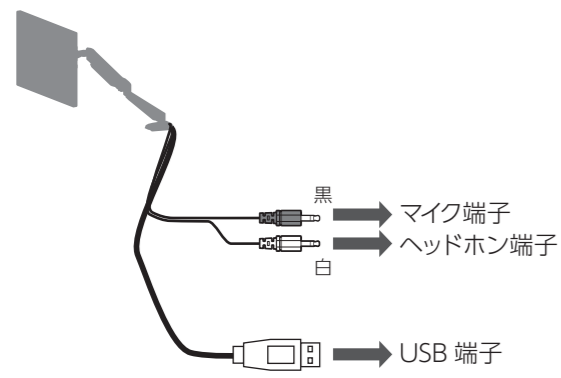


ディスプレイ調節のために

ケーブルはアームの関節部に十分なたるみを残してください。

7 パソコンの端子を延長する (USB/マイク/ヘッドホン)

アームのケーブルをパソコンにつなぎます。(黒：マイク端子、白：ヘッドホン端子)
USB 機器やヘッドセットなどをアーム前面の端子につなぐことができます。



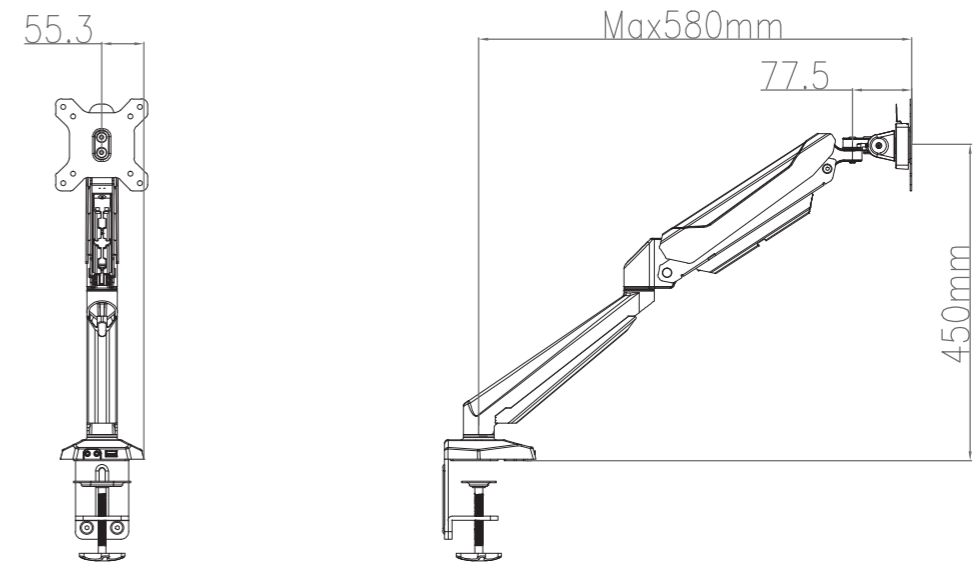
アーム前面の端子を利用できます。

ご注意：つなぐUSB機器について

- ポータブルSSD、ポータブルハードディスク、ポータブル光学ドライブには使えません。
- USB機器を取り外す際は、USB機器側の取り外し手順に沿って取り外しをしてください。

寸法・使用範囲

寸法



使用範囲

ご注意：使用範囲を超えて回転します

本項の使用範囲をご確認の上、範囲内でお使いください。

ご注意：手や指をはさまないように注意する

本製品は機構も多く、荷重もかかるため危険です。
手や指をはさんでケガをしないようにご注意ください。

